

9 . 都市局

都市局 平成20年度局運営方針

事業コンセプト

選択と集中による効率的な事業展開の推進

都市局では、市街地再開発事業、土地区画整理事業、公園整備事業、鉄道駅関連事業など、大きな投資を必要とする事業を多く所管しています。

よって、「選択と集中」をキーワードに、事業費の年次の平準化と重点的投資を基本理念とした、限られた財源による効率的な事業展開を推進してまいります。

人と環境に配慮した協働型まちづくりの推進

ユニバーサルデザインによる人と環境にやさしい公共交通基盤の充実

- ・浦和駅周辺鉄道高架化事業、川越線新駅（西大宮駅）の設置及び日進駅の橋上化を推進するとともに、市内鉄道駅のバリアフリー化を促進します。
- ・ノンステップバスやICカードシステムの導入など、バス利用を促進します。
- ・自転車駐輪場や放置自転車保管所の新設を行い、交通阻害要因を排除します。

環境負荷の低減に資するまちづくりの推進

- ・建築物をはじめ、都市の緑化を市民、事業者及び行政が協働して推進するとともに、貴重な水とみどりのストックを保全・蓄積・活用します。
- ・自動車利用から公共交通機関利用へのシフトを推進します。

市民との協働によるまちづくりの推進

- ・都市局事業概要や広報誌を作成・配布し、まちづくり情報を積極的に提供します。
- ・景観計画を策定し、市民協働による美しく魅力的な都市景観を創造します。
- ・個性的で魅力あるまちづくりに向け、地区計画制度のさらなる活用を図ります。

魅力ある都心・副都心等の形成

風格に満ち、賑わいにあふれた都心の整備

浦和駅周辺地区、大宮駅周辺地区、さいたま新都心の風格と賑わいづくりに向けた整備を推進します。

多様な顔を持つ副都心の形成

日進・宮原地区、武蔵浦和地区、美園地区及び岩槻駅周辺地区等、副都心の多様な拠点機能整備を推進します。

予算

単位：千円

	平成20年度	平成19年度	増減
都市局予算額(当初)	38,214,783	44,412,865	6,198,082 (14%)

主要事業

浦和駅周辺鉄道高架化事業 2,959,341 千円 【所管：鉄道高架整備課】

浦和駅東西市街地の一体化、円滑な道路交通網の確保に向けて鉄道を高架化し、田島大牧線を平面整備します。

平成20年度は京浜東北線大宮方面行きの高架切換と、宇都宮・高崎線の高架化工事を推進します。

日進駅周辺まちづくり推進事業 1,679,749 千円 【所管：大宮北部まちづくり事務所】

JR川越線日進駅北口開設を含めた駅整備、駅前広場・アクセス道路等の都市基盤整備や商店街の活性化を図りながら、北側に隣接する区域の土地区画整理事業とともに、総合的、一体的に事業を進めます。

平成20年度は駅舎や自由通路の整備を行うほか、南口駅前広場の暫定整備を行う予定です。



新駅の設置促進 2,843,900 千円 【所管：指扇まちづくり事務所】

平成20年度中の完成を予定しています。



西大宮（にしおおみや）駅

【位置】JR川越線日進駅より西方へ約2.6km、指扇駅より東方へ約1.4km

【施設概要】

- ・橋上駅舎鉄骨造一部3階建
- ・自由通路：通路幅員6m、延長約35m
- ・バリアフリー対応（エレベーター、エスカレーター整備）
- ・ホーム形式：相対式2面2線
- ・公衆トイレ設置（多目的トイレ付）

駐車場・自転車駐車場整備事業 12,000 千円 【所管：都市施設課】

駅周辺の人口増加に対応するため、自転車駐車場の整備を進めます。

平成20年度は西大宮駅に自転車駐車場の整備を予定しています。

交通バリアフリーの推進 73,113 千円 【所管：交通企画課】

交通バリアフリー基本構想に基づき、鉄道駅周辺のバリアフリー化を促進するとともに、鉄道駅におけるエレベーター等設置によるバリアフリー化を推進します。

平成20年度は、南浦和駅と北浦和駅の改札口外のエレベーター詳細設計や七里駅の改札口内のエレベーター設置への補助金交付などを予定しています。

大宮駅東口都市再生プラン推進事業

66,595 千円【所管：大宮駅東口まちづくり事務所】

大宮駅東口地区の歴史や特性を活かしながら、政令指定都市の都心地区にふさわしいまちづくりを推進するため、大宮駅東口都市再生プランに基づき、駅前周辺地区や大宮区役所周辺地区等の拠点形成と氷川参道や氷川緑道西通線等の都市軸形成を推進します。

平成20年度は引き続き、駅前地区の共同化の支援を行うとともに、氷川参道北区間の歩車分離工事を行う予定です。

(仮称)大宮駅周辺地区都心構想推進事業

19,124 千円【所管：大宮駅東口まちづくり事務所】

大宮駅周辺に集積する商業や業務、交通、緑などの都市機能を再構築し、歴史や文化、スポーツなどの地域資源を活用した都市開発を推進するため、都市ブランドの確立や国際化、IT化への対応などの視点を新たに加え、都市開発の具現化を推進する構想の策定に取り組みます。

武蔵浦和駅周辺地区市街地再開発事業（第1、第4街区）

2,678,935 千円【所管：浦和西部まちづくり事務所】

副都心として位置付けられた武蔵浦和駅周辺地区の再開発事業を推進します。

第4街区は、施設建築物、都市計画道路及び区画道路等の工事を完成します。

第1街区は、事業計画の認可を受け、権利変換計画案の作成及び実施設計を行います。



第4街区

(新)建築物緑化推進制度の創設

5,000 千円

【所管：みどり推進課】

建築物の屋上・壁面緑化に取り組む市民・事業者に対し、費用の一部を助成することで、新たな緑の創出を図ります。

岩槻駅橋上化検討調査事業

25,800 千円

【所管：岩槻まちづくり事務所】

地下鉄7号線延伸と調整を図りつつ、東武鉄道岩槻駅橋上化（西口開設、バリアフリー化）の検討調査を行ないます。

事業の合理化と見直し

都市局におきましては、予算編成にあたり、他局関連事業との年次的重点化や平準化を行うとともに、事業そのものの見直しを行うことにより、歳出予算の合理化に取組むとともに、国庫補助金の活用など自主財源の獲得に努めております。

平成20年度につきましては、違法な屋外広告物の撤去や自然緑地の管理においてボランティアの増員を行うことにより事業費を抑制いたしました。

